

## 第52期第10回常任幹事会 報告

日時：2023年1月26日(木)13:40~15:55

会場：東京労働会館5階地評会議室

出欠：吉田、稲葉、加藤(年、代理：小澤)、白滝、千葉、阿久津、山根、相川、市橋、  
小形、岡本、加藤(都)、加藤(教)、木崎、國米(代理：佐々木)、佐久間、菅谷、  
田村、築館、中山、細見、前沢、森松、吉野、小川、窪田

オブ：坂本、高橋

16/26 ( 会場、 リモート、 \_\_欠席)

議長：小川

### 会長挨拶

地元の介護保険勉強会に出てきたが、乾いた雑巾を絞るような制度大改悪が企まれている。それで削減できるのは2~300億円で、サービス利用できなくなったら生活困難になる人が多く発生する。一方で防衛費を国会にもはからず、国民の審判も経ずに43兆円も増額するなどあってはならない。介護改悪も具体化は統一地方選挙後としており、そういった意味でも大切な選挙だ。

コロナを2類から5類へ変更するといっているが、現在でも一般患者と発熱患者は区別しているのに、一般診療で一緒にしたら感染してしまう。薬も一般化していない状態でインフルの様に扱ってしまうのは反対。

マイナ保険証の準備が着々と進んでいる。医療機関は設備を備えないと4月から保険医登録はく奪しようと脅かしを厚労省は行い、医療界は動揺して顔認証機器の設置を進めている。こんなやり方はおかしい。マイナカードを持ちたくない人も多くいる中で、医療機関すべてでマイナ保険証を使えるようになれば、マイナ保険証義務化されかねない。保険医協会ではこれに対して裁判に訴えよう、幅広く反対運動を広げようとしているのでご協力をお願いしたい。

### 加盟団体の活動交流

#### 1) 年金者組合都本部

1989年にイタリアに倣って日本で結成。全国都道府県にあり、950支部(東京で50)ある。現在10万6千人(東京1万弱)を組織している。年金制度の充実を求める運動をしている。今年改定され若干上がるが、物価に見合う引上げを求めている。2011年に一律2.5%年金減額されたことに対し原告5千人超、弁護士3百人超で提訴。現在最高裁へ上告し闘っており、大法廷で審議して憲法判断するように毎月要請行動している。組織活動では地域からひとりぼっちの高齢者をなくすというスローガンでやっているがコロナで思う様に活動できておらず、14万目標だが伸び悩んでいる。年金受給者は4千51万人、ぜひ現役時から年金者組合に入っていたら一緒に闘って欲しい。無年金者に対しての運動は、最低保証年金8万円(将来的)を掲げている。無年金者を掴んで、手当を支給している自治体もある。世界でも標準の年金毎月支給も掲げている。

## 2) 都立病院を充実させる連絡会

2001年に石原都知事が都立病院を再編する「アクションプラン」を出した時に立ち上がった。14病院の各守る会がその3～4年後に結成されてきた。鈴木知事の時代から都に「あり方検討委員会」があって、行政的医療に都は責任を持つということですので全ての会派含めて合意されていたが、昨年7月に14病院が独法化された。現在、全病院の利用者に向けてアンケートをやっており、特に保険外の自己負担についてどう思っているか明確にしたいと思っている。一般病床の中に精神や感染の専用病床、行政的医療をやる病床があり、都民医療を支える理念を続けさせなければならない。独法化後のPFI事業のあり方も注視していく必要がある。27日に都予算が出るが、どの様な予算が出されるか分析していく。

都立は2類を診る義務があるが、コロナ5類になるとこれが外れる。コロナに対して誰がどう責任を持ってやっていくか迷走する懸念がある。必要な事項について働きかけをしていきたい。

\* 次回は都生連と東京保険医協会にお願いします。(質疑も入れて各15分程度)

## 、報告

### 1、活動報告

- 12月22日(木)15:30～ 人権としての医療・介護東京実行委員会  
23日(金)12:00～ 消費税導入34年怒りの行動 新宿駅南口  
23日(金)18:00～ 中央社保協第5回代表者会議  
26日(月)14:00～ 介護要請行動 参議員会館&オンライン
- 01月06日(金)18:30～ 東京地評旗開き  
11日(水)10:00～ 介護をよくする東京の会  
10:30～ 中央社保協第5回介護障害者部会  
14:00～ 中央社保協第5回運営委員会  
14日(土)12:00～ 4の日宣伝行動 巣鴨駅  
17日(火)14:00～ 東京高齢期運動連絡会 常任幹事会  
いのちのとりで裁判全国アクション第3回運営委員会  
18日(水)18:30～ 東京地方自治研究集会第5回実行委員会  
20日(金)13:30～ 生存権裁判を支える東京連絡会 幹事会  
14:00～ 消費税廃止各界連全国交流集会 国会内&オンライン  
23日(月)13:15～ 国会開会日行動  
14:00～ 日本共産党都議団団体懇談  
25日(水)14:00～ 介護保険学習会(高齢期運動連絡会共催) 地下会議室&Web  
18:00～ 中央社保協第5回代表者会議  
26日(木)13:30～ 東京社保協第52期第10回常任幹事会

## 2、中央社保協、加盟団体の取り組み

### (1) 中央社保協

1月11日(水)10:00～ 中央社保協第5回運営委員会

資料:1~5

### (2) 加盟団体・友誼団体の総会・学習会など

12月24日(土)14:00～ 東京西部保健生協理事会 介護保険問題学習 窪田

1月6日(金)18:30～ 東京地評旗開き 窪田

1月8日(日) 東京視覚障害者協会 新年の集い メッセージ

1月16日(月)19:00～ 東京土建小金井国分寺支部 旗開き メッセージ

1月21日(土)16:30～ 生協労連関東地方連合会 社会保障は権利 窪田

### (3) 事務局・幹事団体

#### 1) 人権としての医療・介護東京実行委員会

資料:6

事務局会議 12月22日(木)15:35～17:00 5階地評会議室

- ・荏原病院における看護師の人手不足は深刻で病棟閉鎖しながらコロナ患者対応。東京以外の新たな「独法化」の動きも出ている。荏原
- ・医療関連協の参加組織の取り組みとして、東京都への働きかけ「ケア労働者の大幅賃上げを」と要請し、懇談を1/17に行う。独法病院の課題として一時金支給や勤勉手当などがある。「業績評価」での分断もある。計算方法を変えてボーナス減、評価で平均だと賃金下がる。そうした都立病院の現状についても要請する。
- ・新潟三条市で3市民病院を済生会に移管、茨城県も済生会の動きがあり急性期減らす動きがある。
- ・独法本部への要請を行った。都立と同じ医療提供を求めた。要請への回答はない。
- ・病院前などでのアンケートを3月まで。多摩はハガキ方式で実施。すでに5～6回行い、150通位集まっている。千以上でまとめたい。
- ・PFI事業(広尾、多摩キャンパス)が4から7になり、さらに北部改修などプラスとなる可能性もあるので学習会も計画する。SPCの賃金は劣悪ではないか? 都は局を福祉と保健医療に分ける
- ・病院に働く人の実態調査を年内行っている。辞める人が多く勤務表ができない。専門職やコメディカルへの手当てを出させる取り組みを行っている。ケア労働者への手当ては出るようになった。労働時間管理は法人一括なので残業チェックできない。法人本部はできても病院現場ではできない。労働安全対策を病院ごとにやっていない。
- ・対都交渉でコロナ病床数の60%くらいで手いっぱいになるのはなぜか聞いたが、回答はなかった。クラスターはどこでも発生しているのに。10月からの看護師処遇改善は対象が限定されている。全都対象のアンケート調査をやっている。
- ・都に独法病院に従来の予算措置を行うよう12月に要請にいった。物価高騰補助を診療に

もと都の支援を求めた。今後とも地域調整会議への参加をできる準備をすすめていく。

- ・台東区病院について区長・区議会議員選挙を前に予定候補アンケートを12月15日締切りで出した。都内統廃合リスト9病院で一緒に働きかけができないかと電話したが、まだ連携はできていない。引き続き課題だ。

#### 協議事項

- ・独法化後の状況をつかみ、時期を見て必要な要請を行う
  - ・地域医療交渉調整会議の日程が出されたので、傍聴を行う
  - ・1/28 14時～ 署名宣伝行動 上野駅広小路口
- 次回会議 1月26日(木)15:30～ 5階東京地評会議室

## 2) 介護をよくする東京の会

資料：7～9

事務局会議 1月11日(水)10:00～12:00 5階東京地評会議室

- ・12/14 4の日宣伝行動 巣鴨駅
- ・12/26 厚労省へひとこと提出行動 参議院会館 + Web 13名参加、2407名分提出
- ・11/28 社保審介護保険部会前宣伝
- ・介護保険部会では、改悪法案は見送りとなり、改悪内容の具体化は統一地方選後と先送りになった。来期からの利用料2割負担化や室料負担、高所得層の保険料引き上げが狙われるとされ、それ以外は見送りとなる模様。これまでより早く運動を立ち上げてやってきたことが一定のアドメに繋がった。
- ・災害時個別避難計画の具体例を入手し、内容について論議した。
- ・普及率の低い足立区は、マイナカードの申請をケアマネに代行させ始めた。
- ・都が今年からWGを作って部門ごとに自治体DXの推進を始めた。
- ・世田谷区議会では、介護団体に広く働きかけて加齢性難聴対策助成の請願が全会派一致で採択し、担当部長と懇談をする。介護請願は委員会で採択、本会議1票差で不採択。

#### 協議事項

- ・12/13に介護請願を都議会に提出。自由を守る会から趣旨に賛同するとの意向が示された。請願審査(日時未定)を傍聴する
- ・1/25(水)14時～ 介護学習会の役割分担と各団体への参加呼びかけ
- ・9期計画策定に向けてすでに調査が終わり集計に入っている。調査項目は自治体によってかなり違うので、要望を反映させるにはもっと早くから取り組まないとならない。
- ・対都懇談に向けての重点要望を確定した。定例会前に懇談の設定を都議にお願いする。
- ・3月11日(土)13時半～ 総会を開催する

#### 当面の日程

- ・1～2月前半 介護署名国会提出行動
  - ・1/28、3/25(土)14時～ サタデーアッピール宣伝 上野駅広小路口
  - ・2/14 4の日宣伝 巣鴨駅頭
- 次回事務局会議 2月15日(水)10時～ 5階東京地評会議室 (定例会議日から変更)

3) 生存権裁判を支える東京連絡会

資料：10～19

幹事会 1月20日(金)13:30～15:00 5階東京地評会議室

- ・11/15学習会は会場13名, Web9アクセスの参加。保護費引き下げの経過が解り勉強になった。データ偽装で制度を動かしてしまう恐ろしさを感じたなどの感想が寄せられた。
- ・今年4月までに7地裁1高裁での判決が予定されており、特に4/14大阪高裁の判決で勝利すれば解決にむけた転機となりうる。政治決着も視野に運動を広げていく。
- ・生活保護世帯の孫の准看収入により世帯分離解除・保護廃止取消の熊本地裁の判決も重要。しかし熊本県は控訴。
- ・社保審生活保護基準部会では、高齢世帯は保護費引き下げが示されたが、物価高騰ということで据え置き(=引き下げ2年延期)となった。引上げの世帯層も本来なら4月から引上げとなるが、システム改修が間に合わないからと10月からとされた。そもそも基準額を算定するしくみも改善させる必要がある。
- ・全国訴訟ネットが「滝井繁男行政争訟奨励賞」を受賞した。判決が確定していないこの時期の受賞は各地の弁護士が全国的な運動として結びつける稀有の機動力が評価されともと思われる。
- ・12/20に全生連で「生活保護基準引き上げを求める請願」(目標1万)を厚労省に9,485筆提出(うち都生連1,703筆)した。
- ・1/30に日弁連会長が宗教2世問題といのとり裁判問題セットで厚労大臣と会見する。生保部会に弁護士も入れろと要請する予定。
- ・足立区の生保ポスターも繰り返し運動・交渉してきた成果。中野区では区役所でなんでも相談会を開催し、ポスターも作成した
- ・次回口頭弁論 2月7日(火)11時～ 東京地裁103号法廷  
同日 10時～ 地裁前宣伝、13時半～15時、報告会を開催の体制確認
- ・月1回の地域持回り宣伝行動も実施すべき  
第14回総会の開催
- ・3月4日(土) 午後 当日に原告を励ます集い(学習と交流)を開催する  
次回幹事会 3月21日(火)13時～ 5階地評会議室

4) 消費税廃止東京各界連絡会 <今月は事務局会議なし>

資料：20

- ・宣伝 1月27日(金) 12:00～12:45 大塚駅南口  
2月24日(金) 12:00～13:00 新宿駅南口 全国各界連宣伝  
次回事務局団体会議 月 日( )13:45～15:00

5) 東京高齢期運動連絡会

常任幹事会 1月17日(火)14:00～16:30 東部区民事務所

- ・2023年2月22日(水)に開催する第32回ゆたかな高齢期をめざす東京のつどいについて  
・全体会を13:30～16:15 中野ゼロホールで開催。目標千人  
YouTube配信も検討。コロナ禍のため会場定数をどうするか検討

- ・分科会は 1/19 14時～「高齢になっても安心して住み続けられるまちづくり」 東京民医連3階研修室 1/25 14時～「介護を知ったら保険がキだった」 東京労働会館地下中会議室 + Web 3/1 10時半～ 「生存権裁判の現状と展望」 と同じ
- ・2023年11月13日(月)に開催する第36回日本高齢者大会in東京について  
全体会は文京シビックホールで決定。分科会は大正大学に申込予定。加盟団体は可能な限り実行委員会に、幹事団体は実行委員を派遣して欲しい。  
準備委員会で開催の意義や大枠について論議をしている。
- ・2/1高齢者中央集会
- ・高齢者大会報告集を千円で普及する  
第31回総会開催について
- ・2月25日(土)13:30～17:00 杉並区方南町区民集会所  
次回常任幹事会 2月16日(木)14:00～ 東部区民事務所
- ・・・三鷹で保健所を東村山でPICUを作れという粘り強い運動が広がっている。補聴器助成は三多摩地域では運動がそれぞれあるが、実現に至っていない。三多摩の運動交流をしたいという要望が出されている。どこかがまとめる旗を振らないとならないのでは？
- ・・・2/6に三多摩高齢期で地域交流集会を開催する予定で、そこでは補聴器助成の取り組みも出されるので参加を。立川では今まで請願に反対していた公明党が議会で言い出した。日野は前進の方向で準備中、4自治体で可能性がある感じ。(相川さん)
- ・・・北区では守る会が議会に陳情したが、公明党は裏では運動しているのに態度では継続審議だった。

#### 6) 都民連 (今月は会議なし)

- ・2月15日(水)12:15～ 第1回都議会定例会開会日行動  
代表質問2/21、一般質問2/22、24、予算特別委3/7～9、3/20、22、閉会日3/24  
次回世話人会 2月3日(金)13:30～ 地評会議室

#### (4) 共闘団体など

資料：21～23

- ・東京公害患者会より要請があった川崎市長宛「ぜん息患者の『いのち綱』成人ぜん息患者・小児ぜん息患者医療費救済制度廃止に抗議し撤回を求める要請」に団体署名をしました。
- ・年金者組合東京都本部より要請があった最高裁判所宛「『年金引き下げ違憲訴訟』の公正判決を求める要請書」に団体署名をしました。
- ・日本共産党都議団が、第1回都議会定例会に「加齢性難聴など、難聴者の補聴器購入費への助成を行う条例」を議員提案することを報告に来られ、意見交換を行いました。また3月頃の条例審議となる委員会の日程を連絡いただき、傍聴を呼びかけることにしました。

- ・天海訴訟 東京高裁12/9結審、判決 3月24日(金)

### 3、会計報告

綴末資料

前回の幹事会で今期会計年度を3月まで4カ月間延長することの承認を頂きました。同時に11月末までの当初会計年度の決算を中間決算として今回幹事会に報告するとしました。そこで、誤って計上した勘定科目を訂正し、立替払いを相殺した上で、2022年度中間決算として報告します。

月次については、12月から年度延長会計としましたので、通年と延長分の損益表を作成しました。

収入について：12月は2団体から会費納入がありました。ともに2022年度分のため預り金としてではなく、今年度会費として計上しました。当期会費未納は6地域社保協（墨田、品川、中野、三鷹、国立、村山・大和）となりました。なお墨田は過年度分が納入されています。納入は計70団体で会費請求団体の93.3%、金額で99.7%（含過年度分）となりました。その他に学習会講師料として収入がありました。延長分も含めた収入累計は984万2,805円、執行率100.6%（その他収入として立替金を含むため）となっています。会計年度延長分執行率は100.3%です。

支出について：今月の特徴的な支出は、サーバーと地下倉庫の使用料がありました。支出累計は811万4,675円で執行率82.9%（延長分執行率28%）となっています。

## 、協議事項

### 1、情勢から

- (1) 介護事業者倒産143件で過去最多 4年、77%の増加に

民間信用調査会社の東京商工リサーチが11日に公表した集計によると、4年の老人福祉・介護事業（介護事業者）の倒産は、前年比76.5%増の143件と介護保険制度が始まった平成12年以降で最多となったことがわかった。新型コロナによる利用控えに、感染対策費用や物価高に伴う運営コストの上昇が重なったと指摘。「物価高が継続すれば倒産が一段と加速する恐れも出ている」との見方を示している。負債総額は221億円（71.9%増）と平成20年の193億円を上回り、最多を更新した。前の3年は81件と資金繰り支援策などが奏功し、前年比31.4%減少していた。4年は、コスト上昇分を利用料に転嫁できず、支援策の縮小、人手不足が追い打ちをかけたと分析している。

業種別では、通所・短期入所介護事業所が69件と最も多く、訪問介護事業所が50件、有料老人ホームは12件で、その他は12件だった。原因別では、販売不振80件、他社倒産の余波38件、赤字累積7件、設備投資過大5件など。従業員数5人未満が最多の85件で、5～10人で32件と小規模事業者が大半を占めている。300人以上の倒産はなかった。

(1/16付 国保情報)

( 2 ) 貧富の差拡大 コロナ禍で新たな富 富裕層上位 1 %に 2 / 3

国際NGOオックスファムは16日、新型コロナウイルスの発生以降に生じた世界の富の3分の2が富裕層上位1%に集中していると報告書で明らかにしました。過去最大規模の貧富の格差に警鐘を鳴らし、各国政府に公正な税制を即時実現するよう求めています。

「生き残る超富裕層」と題する報告書は、各国政財界トップが出席する世界経済フォーラム年次総会（ダボス会議、スイス東部）の初日に合わせて公表されました。

報告書によると、2020年以降に新たに生じた世界の富、42兆ドル（約5360兆円）のうち26兆ドル（約3320兆円）が富裕層上位1%に集中し、1日あたり27億ドル（約3445億円）資産を増やしていると試算。富裕層と1日1・5ドル以下（約192円）で暮らす極度貧困層が同時に増加している現在の傾向は、過去25年で初めてだといいます。

世界的に食費と光熱費が高騰した2022年には大手食品、エネルギー企業が例年の2倍以上の収益を上げ、大半を株主に分配していたと指摘。労働者17億人の賃金が物価高騰に見合わず苦境を強いられており、特に貧困層の過半数を占める女性への影響が深刻だと訴えています。

オックスファムは、富裕層に有利な法人税減税、付加価値税や消費税など低中所得層への負担が重い逆進的な税制を批判。富の偏在は経済成長の鈍化、政治と報道の腐敗、民主主義の弱体化、政治の分極化につながったとして「惨事に便乗して暴利をむさぼる富裕層への税制が必要だ」と指摘しました。

オックスファムは総資産10億ドル以上の「ビリオネア」など世界の富裕層への最大5%課税で年間1・7兆ドルの税収が捻出でき、20億人が貧困から抜け出せると試算。富裕層の不動産や有価証券などへの課税も提案しています。

(1/17付 しんぶん赤旗)

( 3 ) 22年の救急出動、過去最多 東京消防庁「119番の適正利用を」

東京消防庁は17日、2022年の救急隊の出動件数が過去最多の87万2101件（速報値）に上ったと発表した。1件当たりの活動時間も最長を記録。新型コロナウイルス関連の救急要請増加が要因とみられ、同庁は「通報件数も増加している。119番は緊急時に利用して」と呼びかけている。同庁によると、出動件数はこれまで19年の82万5929件が最多だった。22年の119番の件数は現在の集計方式に変わった15年以降で最多の103万6645件（同）で、「隊員の確保が厳しい状況」という。

1件当たりの平均活動時間も、これまで最長だった13年の101分5秒から113分59秒に延びた。病院が新型コロナ対応などに追われる中、受け入れ先を見つけるのに時間を要したとみられる。

(1/19付 メディファックス)

## 2、当面の重点課題

### (1) 東京社保協独自の取り組みなど

#### 1) 都内医療提供体制の充実を求める

資料：24～35

独法化後の都立病院の状況、特にコロナ対応について状況を把握し、必要な事柄については、要請するなどしていく必要があります。人権としての医療介護東京実行委員会を中心に取り組みを検討していきます。

第2回目の地域医療構想調整会議が開始されました。2025年に向けて圏域ごとに各医療機関の提出した対応方針を尊重する方向性を確認したいとしています。また、地域医療連携については、高齢者の急性期症状への対応を地域医療機関が協力して担うためにはどの様にするか、既に行っている取組にはどのようなものがあるかを意見交換し、3月末に検討状況を公表するとしています。圏域ごとに論議の状況をつかんでいくことが必要です。

#### 2) 新生存権裁判東京 勝利に向けた取り組み

今年年は、各地裁での判決が続き、東京の裁判も大詰めを迎えることとなります。すでに提訴から7年を過ぎて、原告の高齢化が進み、亡くなられた方もおられます。最高裁判決まで待たずとも、世論を盛り上げて早期解決への国民的気運をつくっていくために、4/14大阪高裁での判決を契機ととらえ、「いのちのとりで裁判全国アクション」では全国の運動を結集する国会集会在、4月17日(月)午後に予定されています。

それにも連動させつつ、東京の支える連絡会としても活動を前進させるために、下記の取り組み一つ一つを成功させたいと思っています。

#### 署名・学習会の取り組み

署名提出数は累計で25,280筆です。引き続き署名の取り組みをお願いします。次回口頭弁論時に提出するために、2/5までに集約ください。

なお、ゆたかな高齢期をめざす東京のつどいの分科会として、都生連とともに新生存権裁判の学習会を下記の通り行います。

3月1日(水)10時半～12時「生存権裁判の現状と展望」講師 田川英信

(いのちのとりで全国アクション事務局次長)東京労働会館中会議室とオンライン裁判所法廷傍聴を呼びかける

次回公判は、2023年2月7日(火)11時から東京地裁103号法廷です。当日は地裁前で10時から街頭宣伝、13時半から第2衆議院会館多目的室で報告会を開催します。これらへの参加をお願いします。

原告を励ますつどいと新生存権裁判を支える東京連絡会総会の開催

3月4日(土)14:30～ 新生存権裁判の原告を励ますつどい けんせつプラザ東京

当日の13:30～ 第14回生存権裁判を支える東京連絡会の総会も行います。幹事組織をはじめ、多くのおみなさんの激励・参加をお願い致します。

…東京の二つの裁判の原告や運動の交流をすることも大きな目的のひとつ。内容の具体化は都生連と相談しながらこれから詰める。参加費は取らない。

3) 自治体への調査や自治体・議会への要請など

資料：36～72

各地域社保協の取り組み状況をお知らせください。請願・陳情書なども含めて社保協間での交流を行っていきたいと思います。

また、来年度にむけて各自治体から様々な計画のパブリックコメント応募が実施されると思われます。ぜひ、積極的にコメントを送付しましょう。

現在、東京社保協として実施・計画・課題としている調査・要請は下記の通りです。都内自治体に対しての調査については、地域社保協や諸団体の協力もお願いしたいと思います。

第7期介護給付準備基金と8期への繰入調査

- ・51/62自治体は集約(23区はすべて)、多摩と島嶼の11自治体を早急に集約する。
- ・国保実態調査 …今年度は断念、再度内容を精査・準備して来年度春に実施する
- ・11月24日の第1回東京都国民健康保険運営協議会の資料(抜粋)を添付しましたので取組の参考にしてください。2023年度は法定外繰入前で前年度日比8.9%の値上げ。国から解消を求められている法定外繰入の総額、一人当たりの額が最も高いのは東京
- ・中央社保協のホームページから愛知県の国保改善運動交流集会の動画視聴ができます
- …2月の自治体の国保運営協議会で具体的に出されるはずだが、葛飾は運協をいつやるかまだ決まっていないと教えてくれない。
- …全都的に交流しないと各自治体のやり方比較ができない。東京社保協の役割だが、できていない。
- …昨日、国保問題の国会内集会があった。全商連が発行した国保提言2022パンフが基調にあった。統一地方選挙で大きな争点に押し上げる必要もある。国保会計が黒字になっている自治体も増えている。具体的にどうすれば国保料が下がるのか、高いという感覚だけではなく、その手段についても提起していく必要がある。その技量をつける学習会を開催するなど、運動を広げるキッカケをつくるようなことを考えるべきではないかと思う。国保の歴史的背景など解っている人も少ない。法定外繰入のこともよく知られていないし、国保の人の生活実態がどうなのか解らない人も多い。どこを強調点として学習会を開催するとよいのか？
- …パンフを取り寄せて加盟団体に配布したいと思う。
- …国保被保険者の最も多いのは無職の人、次に非正規、どういう視点でやるのか？
- …再来年度は第3期となることから、従来やっていた都議会への高すぎる国保料を引き下げよという請願を実施したい。

介護事業所の「コロナ減収補填を求める請願・陳情」の提出や懇談

介護をよくする東京の会として、第4回定例都議会へ「介護保険制度の改善を求める意見書提出に関する請願」(前回資料参照)を認知症の人と家族の会東京支部と連名で提出しました。

- ・2月14日(火)13時～ 厚生委員会で審議されるので、傍聴をお願いします。
- ・都内唯一足立区で陳情採択、意見書提出となりました。

都民生活要求大運動実行委員会での対都要請行動の介護分野について

1月30日に添付内容で懇談します。

東京後期高齢者医療広域連合及び議会への働きかけ（保険料改定は今年）  
地域社保協でつながりのある議員を紹介してください。

加齢性難聴について

第1回定例都議会に議員提案されるので、その3月に予定される委員会での審議状況などを踏まえながら、統一地方選挙で争点化し、実現させていきましょう。

#### 5) 東京社保協ライン公式アカウントの試験運用とお友達登録のお願い（再掲）

- ・現時点では学習会や集会などのお知らせ、申し込みを都度発信しています。お友達45アカウントとなりました。引き続き、登録・拡散をお願いします。

#### 6) 第14回東京地方自治研究集会（再掲）

日時・場所 2月4日(土) 9:30~15:30 日本教育会館8階会場とWeb  
午前全体会と午後5分科会、1講座を開催

東京社保協は、実行委員会団体、起草委員会メンバーとして加わり、内容・運営について論議継続中です。また、ビラ100部と集会冊子100冊を注文し、加盟団体に配布するとともに集会への積極的な参加を呼びかけます。

…冊子がもうすぐ完成する。杉並区長の新しい公共は何かというロングインタビューは非常に読みごたえがあるので、ぜひ参加して欲しい。

#### 7) ゆたかな高齢期をめざす東京のつどい（全体会）

日時・場所 2月22日(水) 13:30~16:15 なかのZERO大ホール  
記念講演 篠崎 次男さん 資料代1,000円

分科会とともに積極的な参加を呼びかけます。

#### 8) 社会保障入門テキストなど学習会の開催について

- ・統一地方選挙や再来年度の医療・介護報酬、制度改定を意識して各地域での学習会開催を旺盛に進めてください。講師料・会場費などへの補助を年間1万円まで/団体をします。申請してください。
  - ・加盟団体と共同して下記テーマの学習会を早急に具体化したいと考えています
    - ・マイナ保険証義務化反対、マイナンバーカードは国民に何をもたらすか
    - ・国民健康保険、後期高齢者医療保険に対する取り組み
    - ・加齢性難聴対応に対する取り組みと実績
- 開催テーマ、日時設定などについてご意見をお寄せください。

## (2) 中央社保協の取り組み関連

### 1) 全国署名など社会保障制度充実

資料：73～84

これまでより半年以上早くから取り組んだ私たちの介護の充実を求める署名・宣伝も含め、多くの介護関係団体からも改悪反対の声が広がる中、厚労省は通常国会への改定法の提案を断念し、統一地方選挙の争点化を避けて、具体的改悪はその後の論議へと見送られました。来年の制度改定に向けた改悪 利用料の2割化 多床室の室料負担 高所得者の1号保険料の引き上げ 福祉用具販売化を許さない引き続きの取り組みが必要です。

また国民より先に、政府の専守防衛という従来方針すら投げ捨て、軍備増強方針を海外首脳に説明し、既成事実化しようとしている岸田政権を国民世論と運動で追い詰めていく取り組みを強化しなければなりません。

#### 介護関連

- ・12/26「私の一言」2,407人分を厚労省に提出し、懇談しました。
- ・この間の介護に関する取り組みや到達を介護特集として社保誌新春号に掲載しました。
- ・2月1日(水)18時～ 介護署名リスタート集会をオンラインで開催します。
- ・介護7団体で、統一地方選挙候補者に届ける「介護メッセージ」を作成します。

#### 高齢者医療費2倍化関連

- ・日本高齢期運動連絡会が「後期高齢期の生活と意識に関する調査報告」を発表。
- ・2月1日(水)10時半～ 高齢者中央集会、国会議員要請行動

参議院会館104号室とオンライン

- ・「高齢者のいのち・健康・人権を脅かす75歳以上医療費窓口負担2割化の中止を求める請願」署名に取り組みます。

#### いのち(団体統一)署名について

- ・「軍事費2倍化ではなく社会保障の充実を求める請願」署名(請願項目 格差と貧困をなくし、社会保障の維持・発展のため、大企業と富裕層の課税強化 軍事費2倍化ではなく、医療・介護・福祉・年金・子育て・生活保護など、社会保障予算の国庫負担の増額と国民負担の軽減=いのち署名に代わる各団体統一署名)に2月8日(水)代表者会議以降に取り組みます(期間は2025年6月(現衆議院の任期満了)まで、目標100万の予定)。

2月8日(水)18時～ 署名スタート宣伝 新宿駅東口アルタ前

当日開催の中央社保協代表者会議終了後に行いますので、ぜひご参加ください。

### 2) 地域医療・介護・福祉を守る運動の推進で、地域の要求実現へ

- ・今年も11月23日(祝)に「第14回地域医療を守る運動全国交流集会」を開催します。

### 3) マイナンバーカード問題

- ・マイナンバー制度反対連絡会が「健康保険証廃止の中止を求め、マイナンバーカード取

得の強制に反対します」の個人・団体署名の取り組みを開始しました。

- ・ 3月23日(木) 省庁交渉・国会署名提出行動を予定
- ・ 各団体・地域でも学習会を開催してください。東京社保協としてもオンライン学習会を企画します。
- …マイナンバーカード制度反対連絡会とは？その構成団体は？全労連・東京地評・自由法曹団・東京土建が事務局団体として2015年8月26日に17団体44名で結成。保険証義務化デジタル大臣会見後の2022年11月17日「保険証廃止反対！オンライン資格確認・マイナンバーカード強制反対！緊急院内集会」は「共通番号いらぬネット」「マイナンバー違憲訴訟全国弁護団」と共に開催された。

#### 4) 改憲阻止、核兵器禁止にむけた取り組み

資料：85

憲法共同センターなどで構成された「大軍拡NO！連絡会」が「平和、いのち、くらしをこわす大軍拡、大増税に反対する請願」署名を作成しました。取り組み期間は通常国会中で、第一、二次集約を2月、3月末として最終集約が5月中旬との事です。9, 25日宣伝とともに取り組みましょう。

- ・ 1月31日(火)18時～ 敵基地攻撃能力保有の閣議決定に反対する市民集会  
衆議院第一議員会館1階 国際会議室とYouTube配信 日本民主法律家協会主催
- ・ 5月28日(日) 25条共同行動学習集会 ラパスホールとオンライン
- ・ 社会保障誌2022年初夏号「憲法特集」とその中の「Q & Aパンフ」の抜き刷りを活用して、対話や学習会を行いましょ。
- ・ 「憲法改悪を許さない全国署名」の取り組みも推進していきましょう。

#### 5) 「4の日」宣伝 (Since2017年2月～) など

東京社保協・中央社保協の共同での「4の日宣伝」

- ・ 1/14 11名参加。2月14日(火)12時～、巣鴨駅前  
各地域社保協での独自・共同宣伝(再掲)

9の日宣伝、25日宣伝や消費税宣伝に諸団体と合同しての実施も含めて、地域社保協として計画してください。

#### 6) 2月8日(水) 10時半～16時 中央社保協代表者会議の開催について

初秋の中央社保協総会に向けて、当面の運動課題などについて論議検討します。加盟団体からの代表参加も歓迎します。基調報告、全体会報告、分散討論を行います。

参加(オンライン)される方は、中央社保協のホームページ 新着情報 その他 中央社保協2022年度代表者会議 より申し込みください。

### 3、当面の取り組みについて

#### 1) 地域社保協活動調査の実施について

昨年実施できなかったのが、2年間分について2月中に調査し、総会に集約結果を報告できるように実施します。

#### 2) 第53回総会の開催について

日程：4月29日(土)ラパスホール か 5月13日(土)けんせつプラザ東京  
…5月13日に実施する。日本高連総会と同じ日だが連休よりこの日。

時間はいずれも10～16時で開催

内容：午前中は講演 講師は寺尾正之(日本医療総合研究所)さんでどうか？

午後は総会で総括・方針、予算決算、各団体からの討論(活動交流) 役員提案  
終了後役員交流会(コロナの状況による)

…講師は寺尾さんに要請する。

### 4、決裁事項

なし

### 5、要請事項、その他

#### (1) 加盟団体・友誼団体の学習会、総会あいさつなど

2月5日(日)13:30～ 東京教育集会 集会呼びかけ人、1口2千円の賛同金

2月12日(日)15:00～ 足立春闘共闘会議 社会保障学習 窪田

2月19日(日)13:40～ 東久留米社保協第19回総会 介護学習 窪田

28～29日(日) 第5回いのちとくらしを守る税研修会

#### (2) 当面の日程

01月26日(木)15:30～ 人権としての医療・介護東京実行委員会

27日(金)12:00～ 東京各界連 大塚駅宣伝

30日(月)11:00～ 介護をよくする東京の会 対都懇談

02月01日(水)10:30～ 2・1高齢者中央集会国会議員要請行動

18:00～ 介護保険制度の改善を求める請願署名リスタートオンライン集会

02日(木)18:30～ 都政転換をめざす学習会 エデュカス東京

03日(金)13:30～ 都民連会議

04日(土)09:30～ 第14回東京地方自治研究集会 日本教育会館

08日(水)10:00～ 中央社保協全国代表者会議

18:00～ 社会保障の充実を求める請願署名スタート宣伝 新宿駅アルタ前

14日(火)12:00～ 4の日宣伝行動 巣鴨駅

15日(水)10:00～ 介護をよくする東京の会

## 20230126第10回常任幹事会

- 10：30～ 中央社保協第6回介護障害者部会
- 12：00～ 都議会開会日行動
- 13：30～ 中央社保協第6回運営委員会
- 16日(木)13：30～ 東京社保協第52期第11回常任幹事会
- 14：00～ 東京高齢期運動連絡会 常任幹事会
- 22日(水)13：30～ ゆたかな高齢期をめざす東京のつどい なかのZERO大ホール
- 18：00～ 中央社保協第7回代表者会議

### (3) 常任幹事会の日程(定例日：毎月第4木曜日)

次回 2月16日(木) 13：30～ 5階東京地評会議室とオンライン

・・・定例会議日2/23が祝日のため1週間前倒しで開催